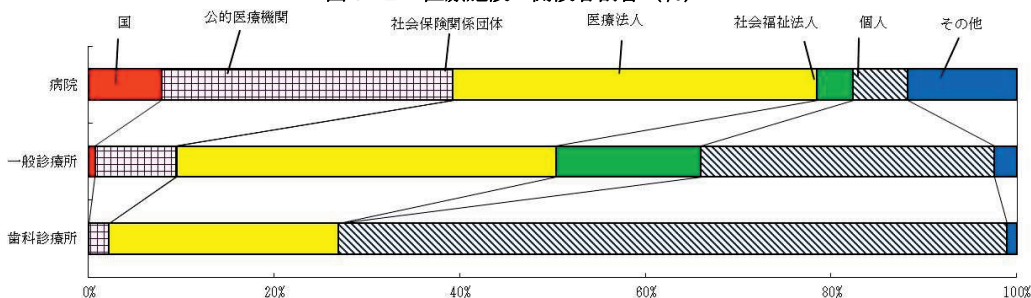


【誤】

医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の39.2%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の31.4%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成27年の状況は、医療法人が40.8%、個人が31.5%である。歯科診療所は大部分が個人で、72.0%を占めており、ついで医療法人が24.7%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口10万対施設数を前年と比べると、歯科診療所は0.3減少し、一般診療所は0.5増加した。全国と比べると、病院は0.6、一般診療所は24.7高く、歯科診療所は15.1低くなっている（表3-2）。

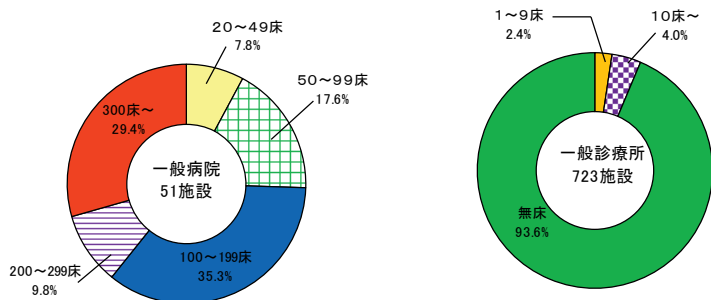
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	平成27年	平成26年	平成27年
病院	7.3	7.5	6.7
一般診療所	104.2	103.7	79.5
歯科診療所	39.0	39.3	54.1

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が7.8%、50~99床が17.6%、100~199床が35.3%、200~299床が9.8%、300床以上が29.4%であった。

一般診療所は1~9床が2.4%、10床以上が4.0%、残りの93.6%は無床である（図3-3）

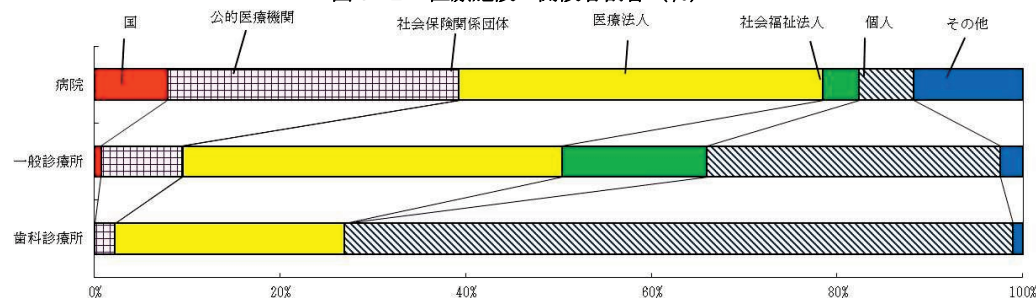
図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



【正】

医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の39.2%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の31.4%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成27年の状況は、医療法人が40.8%、個人が31.5%である。歯科診療所は大部分が個人で、72.0%を占めており、ついで医療法人が24.7%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口10万対施設数を前年と比べると、歯科診療所は0.3減少し、一般診療所は0.4増加した。全国と比べると、病院は0.6、一般診療所は24.6高く、歯科診療所は15.1低くなっている（表3-2）。

表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	平成27年	平成26年	平成27年
病院	7.3	7.5	6.7
一般診療所	104.1	103.7	79.5
歯科診療所	39.0	39.3	54.1

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が7.8%、50~99床が17.6%、100~199床が35.3%、200~299床が9.8%、300床以上が29.4%であった。

一般診療所は1~9床が2.4%、10床以上が4.0%、残りの93.6%は無床である（図3-3）

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合

